

Tsuyama College		Year	2019		Course Title	数学特論							
Course Information													
Course Code		0084		Course Category		General / Elective							
Class Format		Lecture		Credits		Academic Credit: 2							
Department		Department of Mechanical Engineering		Student Grade		5th							
Term		First Semester		Classes per Week		2							
Textbook and/or Teaching Materials		教科書：上野建爾 監修 応用数学，応用数学問題集（森北出版） 参考書：林・長坂 著 複素関数概論（サイエンス社）											
Instructor		YOSHIDA Eiji											
Course Objectives													
工学を学ぶ上で必要な複素関数論の基礎知識を習得する。 1. 正則関数の基本的性質を理解する。 2. 複素関数の微分積分を理解する。 3. 複素関数の展開を理解し，留数定理およびその応用に習熟する。													
Rubric													
		優		良		可		不可					
評価項目1		正則関数の基本的性質を活用し、応用できる。		正則関数の基本的性質を活用できる。		正則関数の定義を理解している。		正則関数の基本的な性質を理解していない。					
評価項目2		複素関数の微分積分の理論を理解し、活用できる。		複素関数の標準的な微分積分を計算できる。		複素関数の基本的な微分積分の定義を理解している。		複素関数の基本的な微分積分を計算できない。					
評価項目3		複素関数の展開や留数定理の理論を理解し、活用できる。		複素関数を展開し、留数定理を活用できる。		複素関数の展開、留数定理の定義を理解している。		複素関数を展開し、留数定理を理解していない。					
Assigned Department Objectives													
Teaching Method													
Outline		一般・専門の別：一般 学習の分野：自然科学系共通・基礎 必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択 基礎となる学問分野：数物系科学／数学／基礎解析学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（1）実践的技術と工学の基礎を学び，深く専門の学芸・技術を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（A）技術に関する基礎知識の深化，A－1：工学に関する基礎知識として，自然科学の幅広い分野の知識を修得し，説明できること」である。 授業の概要：工学を学ぶ上で必要な複素関数論の基礎を解説する。複素関数論は非常に精巧華麗である。複素関数論の世界に触れることによってそこに流れる構造の美しさを感じ取ってほしい。工学をしっかり学びたい学生，進学を希望する学生，数学が好きな学生に受講をすすめる。											
Style		授業の方法：板書を中心に授業を進める。授業では細部にこだわることなく全体的な内容の理解を重視する。またその理解をより深めるために演習を課す。この科目は前期開講科目である。 成績評価方法：2回の定期試験の結果（同等に評価し60％）と課題（40％）の合計により評価する。なお，成績によっては，再試験を行うことや追加レポートを出すこともある。再試験は60点を上限として本試験と同様に評価する。試験には，教科書・ノート等の持ち込みを許可しない。											
Notice		履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが，これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修上のアドバイス：3年生までの数学，特に三角関数，指数関数などいろいろな関数の概念，それらの微分法（偏微分を含む），積分法（重積分を含む），及び4年生の応用数学Ⅱで学んだ線積分の概念をしっかりと確認しておくこと。 基礎科目：基礎数学Ⅰ，Ⅱ（1年），基礎線形代数（2），微分積分Ⅰ，Ⅱ（2，3），線形数学（3），応用数学Ⅱ（4），電磁気学（4） 関連科目：伝熱工学（5年），電磁気学（5），流体力学（専攻2）など 受講上のアドバイス：必要に応じて復習しながら講義を進めるが，4年生までの数学を折に触れて復習しておくこと。毎回の予習復習が重要なのは言うまでもない。 遅刻について：授業開始10分までを遅刻とし、遅刻の回数が多い場合は，警告を行った後，欠席扱いとすることもある。											
Course Plan													
				Theme		Goals							
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス，複素数と極形式			複素数の基本演算と極形式を理解する							
		2nd	絶対値と偏角			絶対値と偏角を理解する							
		3rd	複素関数，複素関数の極限			複素関数と複素関数の極限を理解する							
		4th	コーシー・リーマンの関係式			コーシー・リーマンの関係式を理解する							
		5th	正則関数とその導関数			正則関数の基本事項を理解する							
		6th	逆関数			正則関数の導関数を理解する							
		7th	演習			演習							
		8th	中間試験			1～7週までに習った内容の定着							
	2nd Quarter	9th	複素関数の積分			複素積分を理解する							
		10th	コーシーの積分定理			コーシーの積分定理を理解する							
		11th	コーシーの積分表示			コーシーの積分表示を理解する							
		12th	級数，テイラー展開			テイラー展開を理解する							
		13th	ローラン展開			ローラン展開を理解する							
		14th	孤立特異点と留数および留数定理			留数定理を理解する							
		15th	前期末試験			前期末試験							
		16th	前期末試験の返却と解答解説			前期末試験の返却と解答解説							
Evaluation Method and Weight (%)													
試験		発表		相互評価		態度		ポートフォリオ		課題		Total	

Subtotal	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0